

## 情報検索サービス 第7回資料 Web上の情報源

聖徳大学司書補講習  
2008年8月29日、9月1日  
江草田佳  
国立教育政策研究所  
yuka@nier.go.jp

第7回資料

1

## 今回のおしながき

1. Web上の情報源
  - 第12回演習課題
    - WayBackMachine
    - ND-L-OPAC
  - 1. WayBackMachine
  - 2. ND-L-OPAC
  - 3. Webcat
  - 4. Cinii
2. 試験について

第7回資料

2

## Web上の情報源

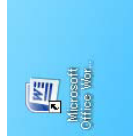
- Web上には様々な便利な情報源がある
- 今回はその中の一部を紹介する
  1. WayBackMachine
  2. ND-L-OPAC
  3. Webcat
  4. Cinii

第7回資料

3

## 第12回演習課題(1)

- Wordを起動
- 「挿入」→「ヘッダー」→「ヘッダーの編集」
- ヘッダーを編集する
  - 講義名
  - 課題のタイトル: 第\_\_回演習課題・Web上の情報源
  - 学籍番号
  - 氏名
  - **挿出する**日付
- 「ヘッダー」とフッターを閉じる」
- WayBackMachineについての情報をWordに記述する
  - WayBackMachine
  - URL



第7回資料

4

## WayBackMachine

- <http://archive.org/web/web.php>
  - 巨大なアーカイブ・サイト
  - 1996年以降から収集開始
  - 世界の多くのサイトを収集
- アーカイブサイトとは
  - 定期的にWWW上の情報資源を保存・提供
  - 過去の情報が見れる
    - 検索エンジンでは、現在のWebページしかみれない  
(「404 Not Found Error」)
  - 検索可能 (URLやキーワードなど)

第7回資料

5

## 第12回演習課題(3)

### — 1. WayBackMachine(2)—

1. Internet Exploreをもうひとつ起動する
2. WayBackMachineのURLを入力してサイトへ
  - <http://archive.org/web/web.php>
3. 首相官邸のホームページのURLを入力
  - <http://www.kantei.go.jp/>
4. 「Take Me Back」ボタンをクリック
5. 日付のリンク(例: Nov 08,1996)をクリックして過去のWebページをみる→**画面をWordへ**
  - 1つだけではなく、いろいろ試してみる!
  - 例: 1997年の首相は誰だったかな?
  - 例: 2000年は?




第7回資料

7

## 第12回演習課題(2)

### — 1. WayBackMachine(1)—

1. 現在の首相官邸のホームページを見る
2. Internet Exploreを起動する
  - 
3. 首相官邸のホームページのURLを入力
  - <http://www.kantei.go.jp/> → **画面をWordへ**



第7回資料

6

## 第12回演習課題(4)

- ND-L-OPACについての情報を記述する
  - ND-L-OPAC
  - URL
  - 検索要求を簡単に説明(例: ...な本を探したい)
  - ND-L-OPACを検索
  - 検索画面をWordに張り付ける
  - 検索結果画面をWordに張り付ける

第7回資料

9

## 日本全国書誌: ND-L-OPAC

- <http://opac.ndl.go.jp/>
- 日本国内で発行された出版物のデータベース
  - ND-L: National Diet Library = 国立国会図書館
  - 国立国会図書館は日本の出版物をほぼ全て所蔵
  - 各図書館のOPACより更新が遅いこともある
  - 全国書誌検索ができる

第7回資料

8

## 学術雑誌総目録: NACSIS Webcat

- <http://webcat.nii.ac.jp/>
- 国公立大学図書館の総目録のデータベース
  - 研究所の図書館なども含む
  - この大学に本が所蔵されているか?を知りたいときに使える
- ただし、全ての大学図書館の目録データがあるわけではない → 例: 早稲田大学
  - 早稲田大学の図書館に所蔵されている本は
  - 早稲田大学のOPACでは検索できる
  - Webcatでは早稲田大学に所蔵されていることがわからない

第7回資料 10

## 第12回演習課題(6)

- WordにCiniiの情報を書く
  - Cinii
  - URL

第7回資料 13

## 試験について

-- 演習 --

- 範囲:.....授業でやったWeb上の検索サイト
- CD-ROM検索演習
  - **ブラウザ機能**
    - ・ どのような機能?どんなときに使う?
- 使ったWeb上のデータベースの特徴を覚える
  - データベースの収録対象は?
  - ・ Webページ?本?論文?
  - どんなことがわかる?
  - ・ 所蔵情報?全文?
- どのような検索要求のときに、どのデータベースを使えばよいか
  - 例: 夏目漱石が書いた「我輩は猫である」の全文を読みたい
  - → どのデータベースを検索すると良い?

第7回資料 15

## 第12回演習課題(5)

- NDL-OPACと同様

第7回資料 11

## 第12回演習課題(7)

Cinii

統制語を用いた情報検索に関する記事で、本文があるものを検索したい

1. 詳細検索の先頭のクエリボックス:
  - 1. フリーワードに「統制語」とシソーラスを入力し、検索語の組み合わせを「いずれかを含む」を選ぶ
3. 詳細検索の2番目のクエリボックス:
  - 1. 「AND」をえらぶ、「フリーワード」を選ぶ、「情報検索」を入力する。→**画面をWordへ**
4. 「検索」ボタンをクリックする
5. 検索一覧画面からどれか選ぶ(例:「インターネット時代における統制語彙の意義と役割」<特異>統制語彙・シソーラスの現在)])
6. 右の本文を読む・探す「CiniiPDF」リンクをクリック
7. 本文を閲覧する→**画面をWordへ**

第7回資料 14

## Genii/Cinii

- Genii (ジーニイ)
  - コンテンツポータル、様々な学術情報を検索できる
  - <http://ge.nii.ac.jp/genii/isp/index.jsp>
- Cinii (サイニイ)
  - 日本の学術論文を論文情報を収録したデータベース中心
  - 本文を閲覧できるものもある、引用文献からたどることも可能
  - <http://cinii.ac.jp/>

第7回資料 12

## 試験について

-- 講義 --

- 情報検索の定義
  - 何の訳語?誰が言ったの?何年ごろ?など
- データベースの定義
  - どの法律?どんなもの?
- 情報検索の理論
  - 論理演算(論理積、論理和、論理差、**図も描けるように**)
  - トランケーション(前方一致、後方一致、中間一致、中間任意)
- 検索結果の評価(再現率、精度)

第7回資料 15